

# 社長として「入れるべき」生命保険の考え方

## ● 社長として従業員を生命保険に入れておくのは

### 第1ステップ……死亡保障のみを少ない予算で

福利厚生の一環として、従業員の突然の死亡に対して、生命保険を通じてその死亡保障を購入します。従業員が生きがいと安心感をもって働ける職場環境をつくるためのものですが、もっとも大きな恩恵を受けるのはその家族です。

### 第2ステップ……死亡に加えて、寝込んだときの用意もしておく

ここからは予算との相談です。必要最低限の予算なら、万が一の死亡に対して定期保険で填補し、予算が取れるようなら、入院などの医療特約も付けましょう。

### 第3ステップ……保障に貯蓄の要素も付け加えて

さらに予算が取れるなら、万が一の死亡だけでなく、長く勤め上げてくれたときの退職金の財源として、定期保険でも戻りのある商品や貯蓄性の高い商品を購入します。こうした形で「生きて良し」「死んで良し」の状態を社内全体に広げれば、従業員やその家族の職場満足度が上がり、社長や会社のファンになってくれるでしょう。

#### 予算が少ない場合

#### 保障購入編

#### 死んで良し

何もない場合 家族 → 安心

万が一の場合 家族 → 安心

#### 定期保険



#### 予算が多い場合

#### 退職金準備編

#### 生きて良し

退職金を準備しながら、万が一の場合の家族の安心も確保

#### 超長期定期保険 養老保険

